

日糧製パン株式会社

おいしく、北海道らしく。



札幌証券取引所 個人投資家向け会社説明会
2016年2月10日（水）

上場市場：札幌証券取引所（証券コード2218）

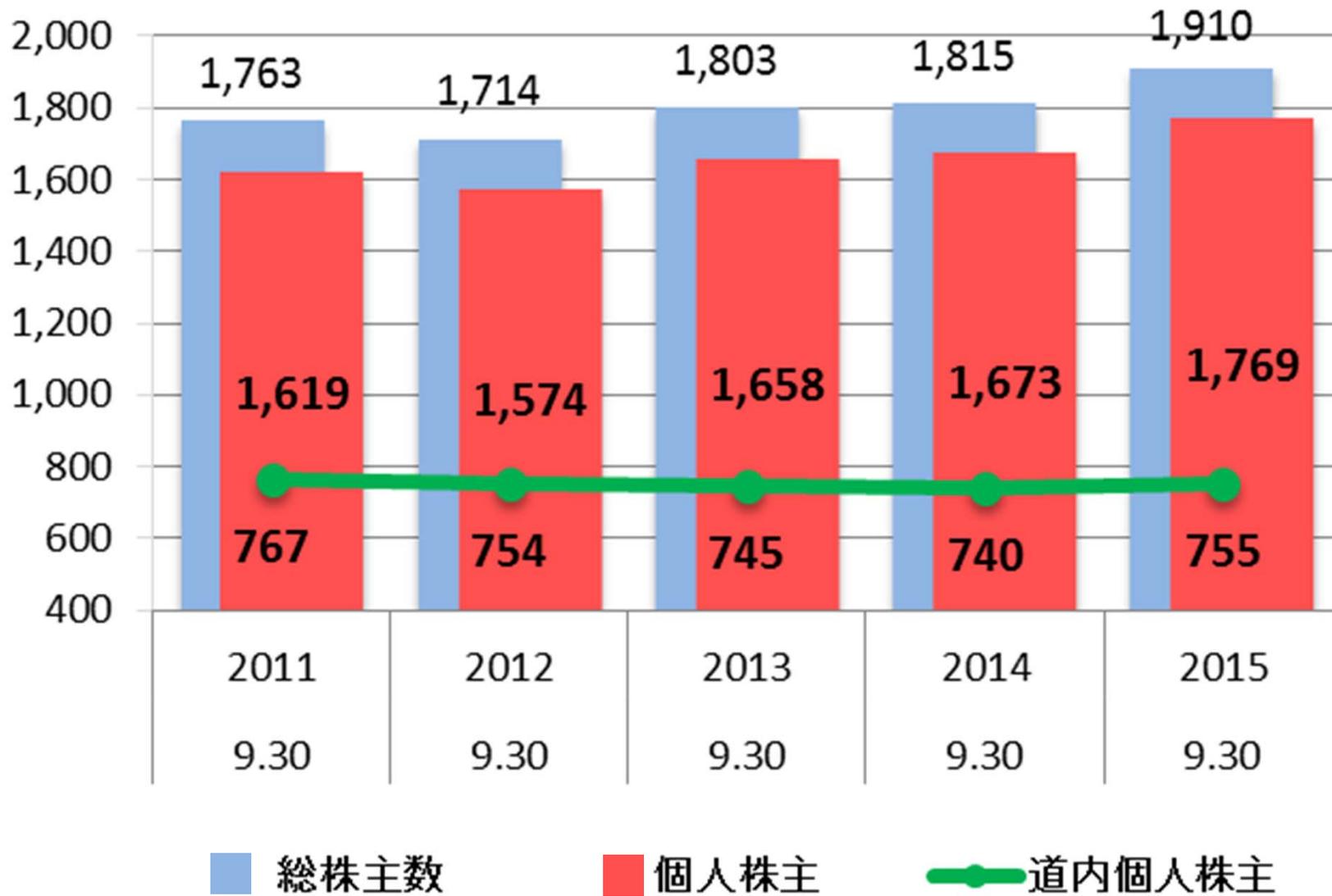
連絡先：011-851-8131

URL：<http://www.nichiryō-pan.co.jp/>

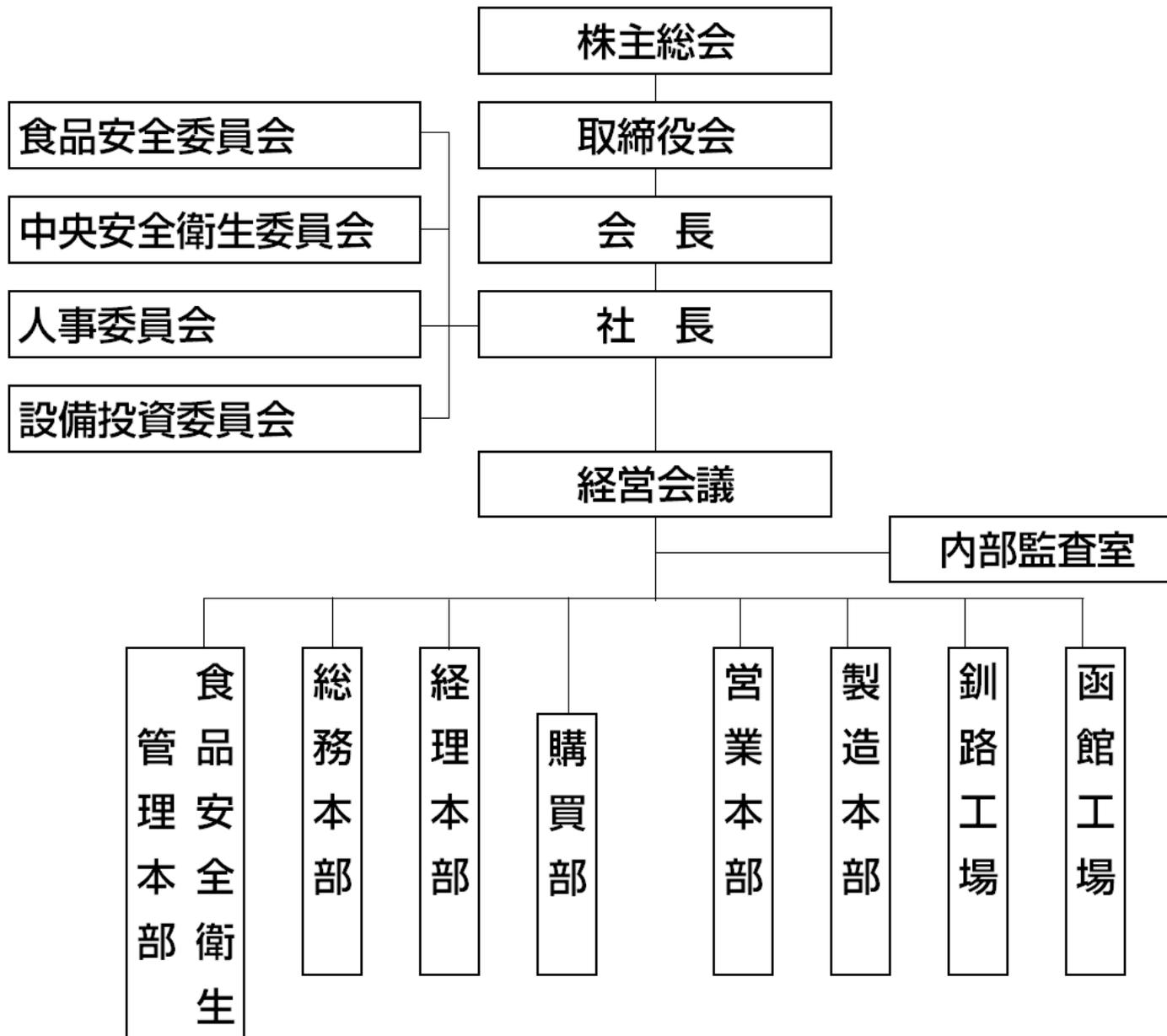
会社概要

商号	日糧製パン株式会社
本店所在地	札幌市豊平区月寒東1条18丁目5番1号
代表者	代表取締役会長 山本 和明 代表取締役社長 吉田 勝彦
創業	1943年(昭和18年)10月
従業員数	常用従業員 698名 <u>2015年3月31日現在</u> 臨時従業員 約900~1,100名
決算期	3月
資本金	10億5,197万円 <u>2015年9月30日現在</u>
株主数	1,910名 <u>2015年9月30日現在</u> (内、単元未満以上の株主数 1,452名)
発行済株式総数	21,039,480株
単元株数	1,000株

株主数推移



組織図 (概要)



沿革

1943年 10月
1959年 3月
1966年 12月
1977年 10月
1990年 1月
1999年
2005年 7月
2009年 8月

北海道報国製菓有限公司設立

日糧製パン株式会社に改称

東京へ進出

札幌証券取引所へ株式上場

「チーズ蒸しパン」が大ヒット

(1990年度 日経優秀製品授賞、
日経流通新聞賞優秀賞授賞)

東京製パン事業・米飯事業から撤退

食パン「絹艶」発売

2007年10月 札証IRに参加

山崎製パン株式会社と業務資本提携契約を締結

2011年 2月 札証IRに参加

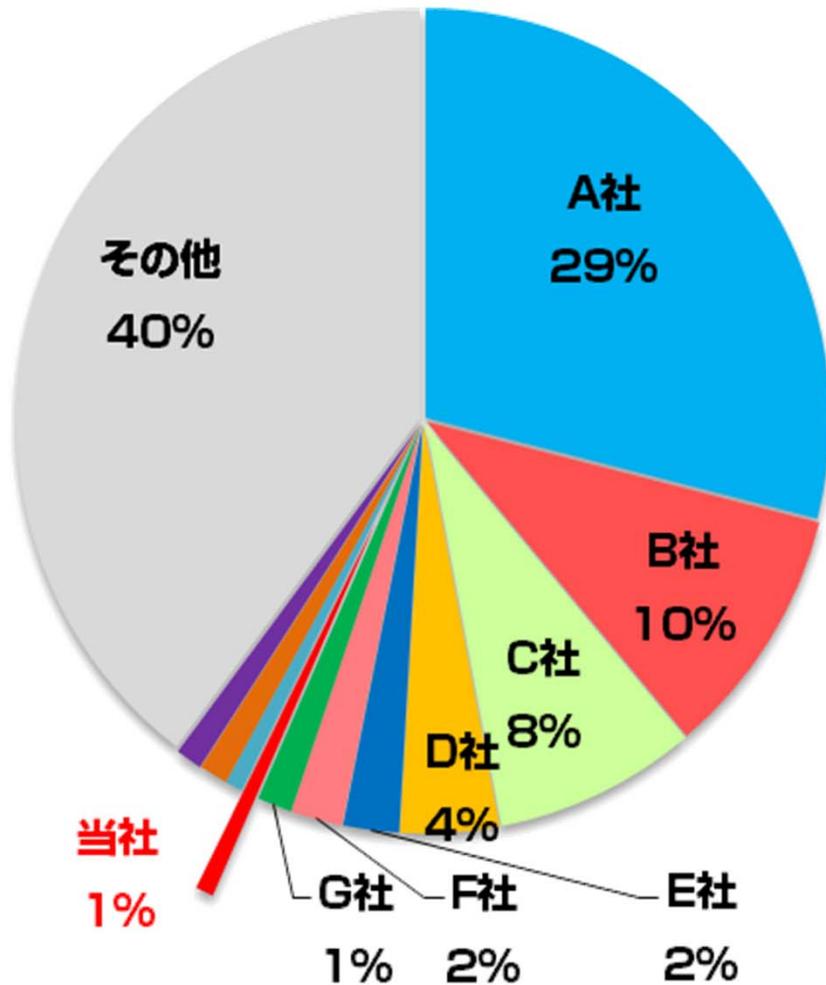


パンの市場規模

◆ 全国

約1兆4,016億円

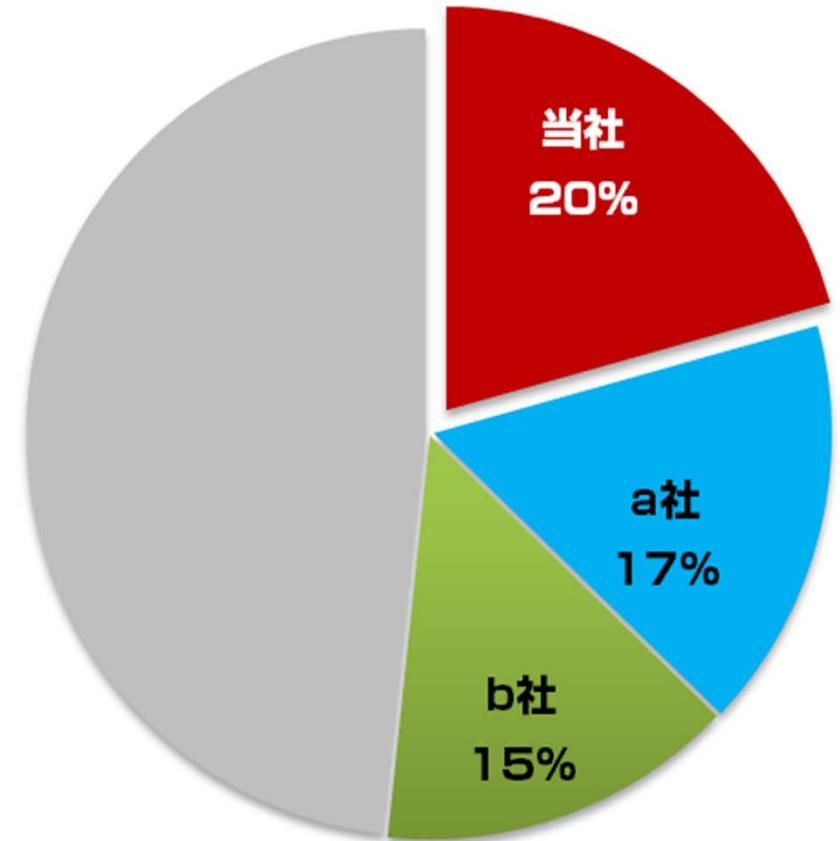
(2013年度 経済産業省 工業統計調査)



◆ 北海道

約595億円

(2013年度 経済産業省 工業統計調査)



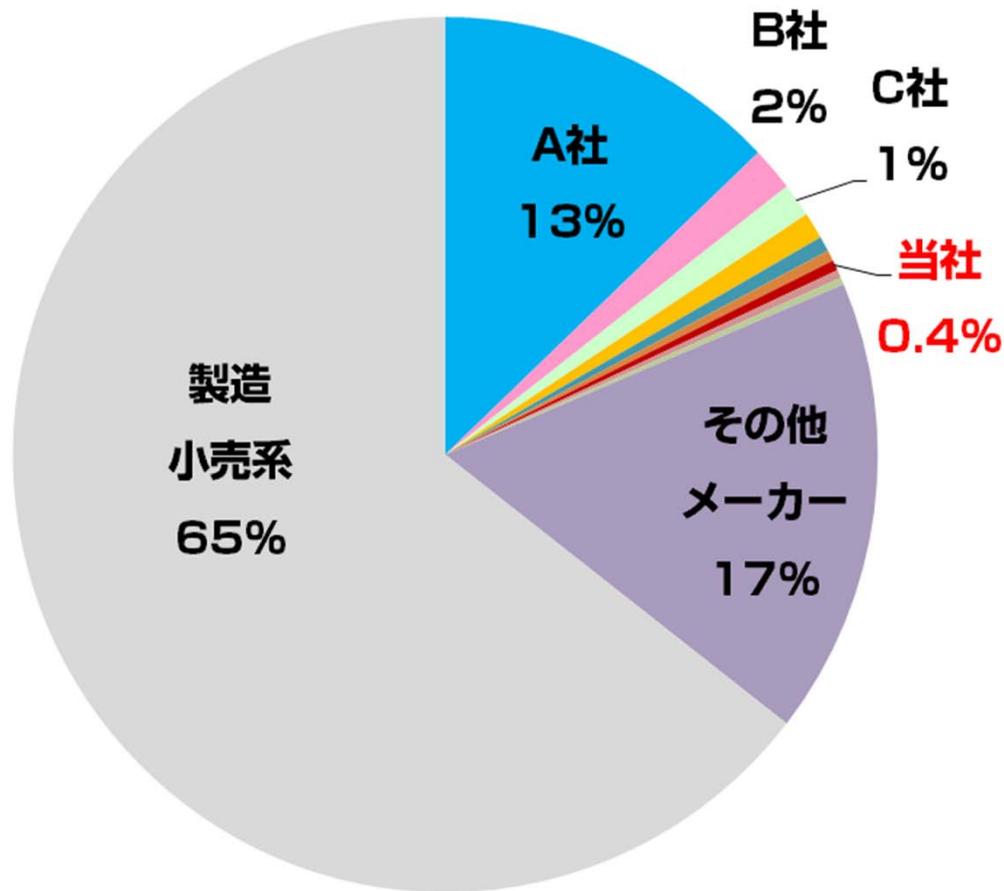
※各社比率は当社推定値

和洋菓子の市場規模

◆ 全国

約1兆2,807億円

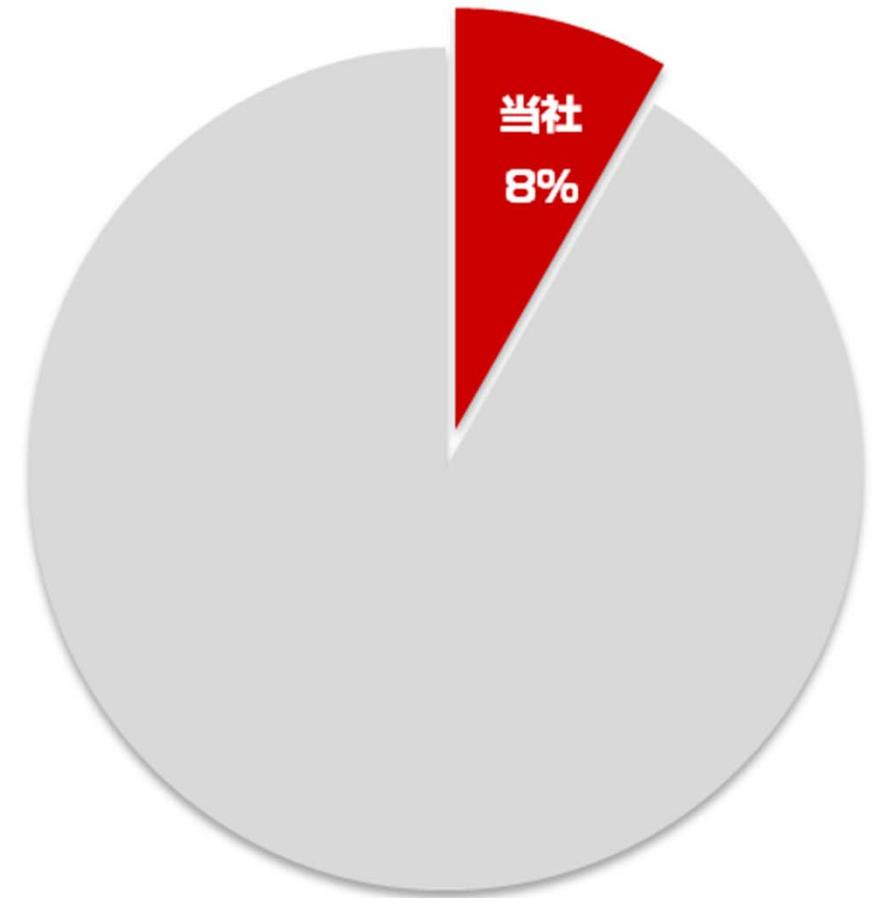
(2013年度 経済産業省 工業統計調査)



◆ 北海道

約544億円

(2013年度 経済産業省 工業統計調査)



※各社比率は当社推定値

当社の事業内容

製品開発から販売まで一貫して行う

製品企画開発

製造

仕分け

品質検査



原料調達



配送・販売



売上高構成比

2015年3月期

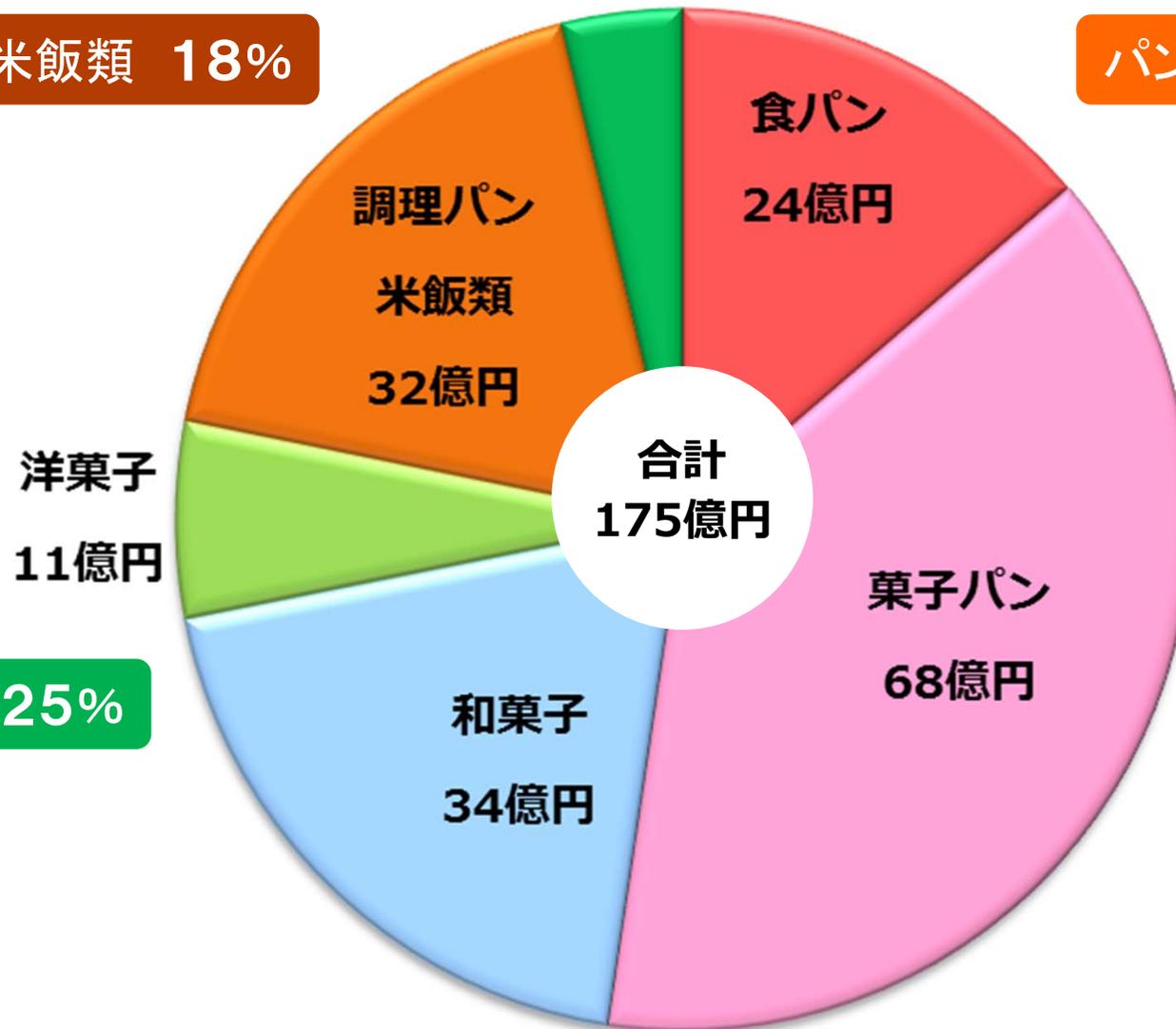
(単位以下切り捨て)

その他
7億円

調理パン・米飯類 18%

パン部門 52%

菓子部門 25%



食パン

売上高 構成比 13.7%

24億1千8百万円

(対前期比 102.5%)

アイテム数 約50品



■ 「絹艶プレミアム」発売、
キャンペーンを活用した
ブランドイメージ向上と
取扱拡大

■ バラエティ食パンの寄与



菓子パン

売上高 構成比 38.6%

67億9千1百万円

(対前期比 101.9%)

アイテム数 約300品



■ 「北の国のベーカリー」シリーズ、「スイートデニー郎」など、ペストリーの主力製品の販売強化と取扱拡大



和菓子

売上高 構成比 19.5%

34億3千6百万円

(対前期比 100.6%)

アイテム数 約120品



■ 串団子・まんじゅうが堅調に推移

■ ロングライフ製品および季節商品が伸長

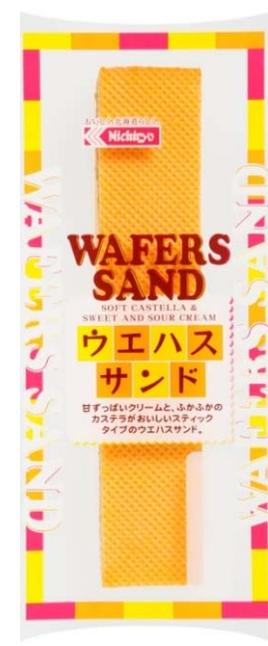
洋菓子

売上高 構成比 6.2%

10億9千9百万円

(対前期比 97.5%)

アイテム数 約60品



- チルドデザート類の伸長
- スイスロールおよびシュークリームの伸び悩み

◆和洋菓子の季節商品
約30～90品（年間約300品）



調理パン・米飯類

売上高 構成比 18.0%

31億6千7百万円

(対前期比 112.7%)

■ 量販店向けの米飯類が伸長



事業拠点

琴似工場



和生菓子、
大福、落雁など

函館工場



ようかんがけ製品など



釧路工場



バラエティ食パン
ラスクなど

月寒工場

主力工場 パン・菓子・米飯類を製造

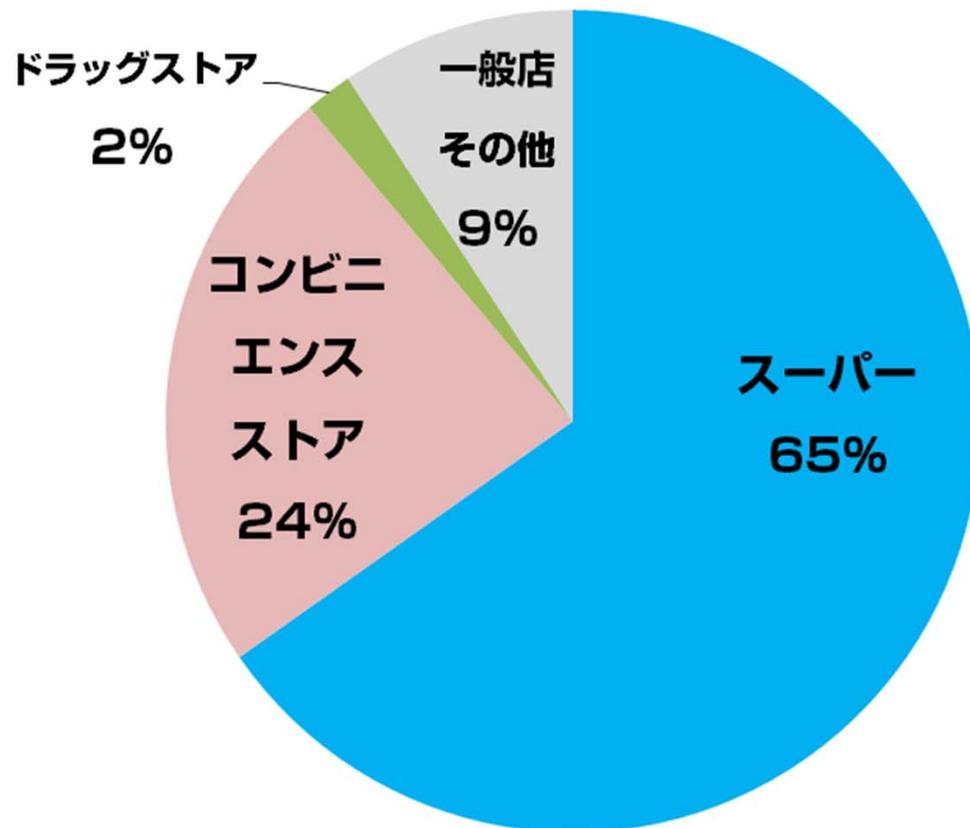


取引先

(売上高は、2015年3月期／単位以下切り捨て)

お客様

スーパー、コンビニエンスストア、ドラッグストア、学校など
約6,000店



【当社売上高構成比】

経営理念

Mission ミッション
(果たすべき使命・役割)

いつも安心できるおいしさと信頼感で人と環境にやさしい企業

Vision ビジョン
(達成すべき企業像)

北海道の活性化に貢献する " 真の北海道企業 " への成長

Domain ドメイン
(事業の領域)

良質なパン・菓子を中心とした食関連事業

おいしく、北海道らしく。



「おいしく、北海道らしく。」の追求

おいしく、北海道らしく。



◆ 北海道産原料を使用した製品の積極展開(約30品)



『絹艶北海道』

北海道産小麦を
使用



『十勝しゃっきりコーン』

士幌町産の新物コーンを使用
2015年で10年目



『北海道ミルクパン』

北海道産牛乳を使用

2/1
新発売

「おいしく、北海道らしく。」の追求

おいしく、北海道らしく。



◆ 道内企業とのコラボレート製品の展開



「株式会社 土倉」と
コラボレート

ほうじ茶・抹茶を使用



「福山醸造株式会社」と
コラボレート

みそ・しょうゆを使用



「おいしく、北海道らしく。」の追求

◆ 北海道の食パン市場の拡大に向けて

- ・ 食べ飽きないおいしさを追求した **「絹艶」**
- ・ お求めやすい価格、かつ、おいしさを追求した **「みんなの食パン ANN(アン)」**の展開



◆ 北海道から全国へ

「Kitaラスク」
 「ラスク チーズ蒸しパン」などを展開
 北海道内のお土産店などで販売



ロングライフ製品(パン・菓子)の展開



品質の安定・向上 おいしさと安全・安心の追求

① AIBフードセーフティに基づく工場運営

安全・安心で高品質な製品を提供するため、「食の安全・安心」を最優先課題に掲げ、原材料調達から生産、出荷まで全ての工程をAIBフードセーフティシステム(AIB国際検査統合基準)に則り、全工場において継続的に食品安全衛生管理体制を強化

② 品質保証体制(食品安全衛生管理本部担当)

各工程における衛生・品質管理の指導・徹底
科学的な検査に基づく、製品の出荷判定・期限決定

◆ 全員参加の5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)

①・②を更に推進・徹底するため、
全従業員が参加する「N・NPM活動」を実施
品質の安定・向上を現場の改善から支える



社会貢献活動

東日本大震災以後、特に防災に関する取組みを強化しています

◆「災害発生時における物資供給に関する協定」の締結

北海道、青森県、北海道警察、札幌市との間で、
災害時の物資供給について協定を結び、協力体制を整えています

◆札幌市総合防災訓練に参加 (2015年9月イオン札幌平岡店、2014年9月札幌大学で実施)

ロングライフ製品の展示、救援物資の輸送訓練など



2016年3月期 第3四半期（4月～12月） 決算状況

◆ 概況

（単位：百万円）

	当 期	
	金 額	前年同期比
売 上 高	13,505	101.1
営 業 利 益	391	105.5
経 常 利 益	394	103.4
当 期 純 利 益	243	113.2

◆ 部門別売上高

（単位：百万円）

	当 期		比 較 増 減	
	金 額	構 成 比	金 額	前年同期比
食 パ ン	1,850	13.70	48	102.7
菓 子 パ ン	5,165	38.25	▲50	99.0
和 菓 子	2,577	19.09	4	100.2
洋 菓 子	945	7.00	56	106.3
調理パン・米飯	2,521	18.67	90	103.7
そ の 他	444	3.29	▲0	99.8
売上高合計	13,505	100.00	148	101.1

- 主力製品の品質向上と育成
- 市場動向やお客様のニーズに即した高付加価値製品の開発ならびに拡販

- 食パン部門は主力の「絹艶」シリーズに「絹艶北海道」を新たに投入したことに加え、低価格帯の製品およびバラエティ食パンが伸長し、順調に推移
- 調理パン・米飯部門は、量販店向けの米飯が引き続き堅調に推移し、前年同期の売上を上回る

業績推移

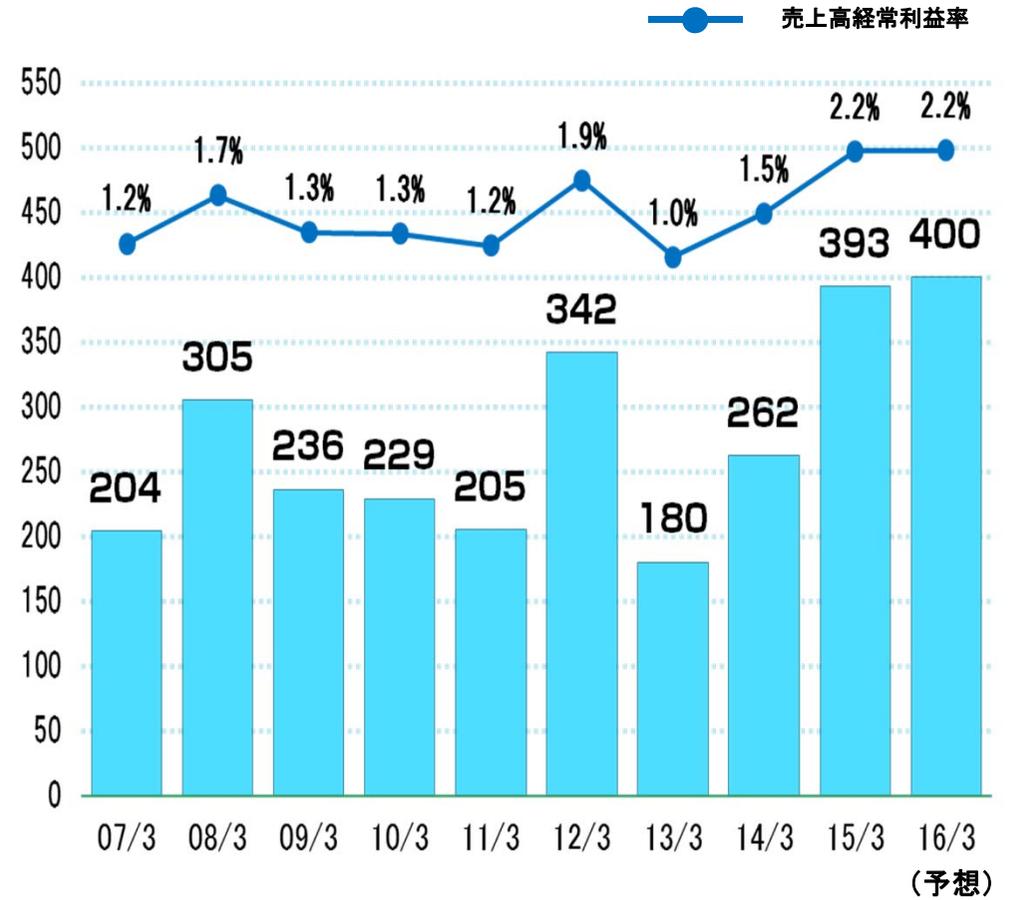
◆ 売上高

(単位:億円)



◆ 経常利益

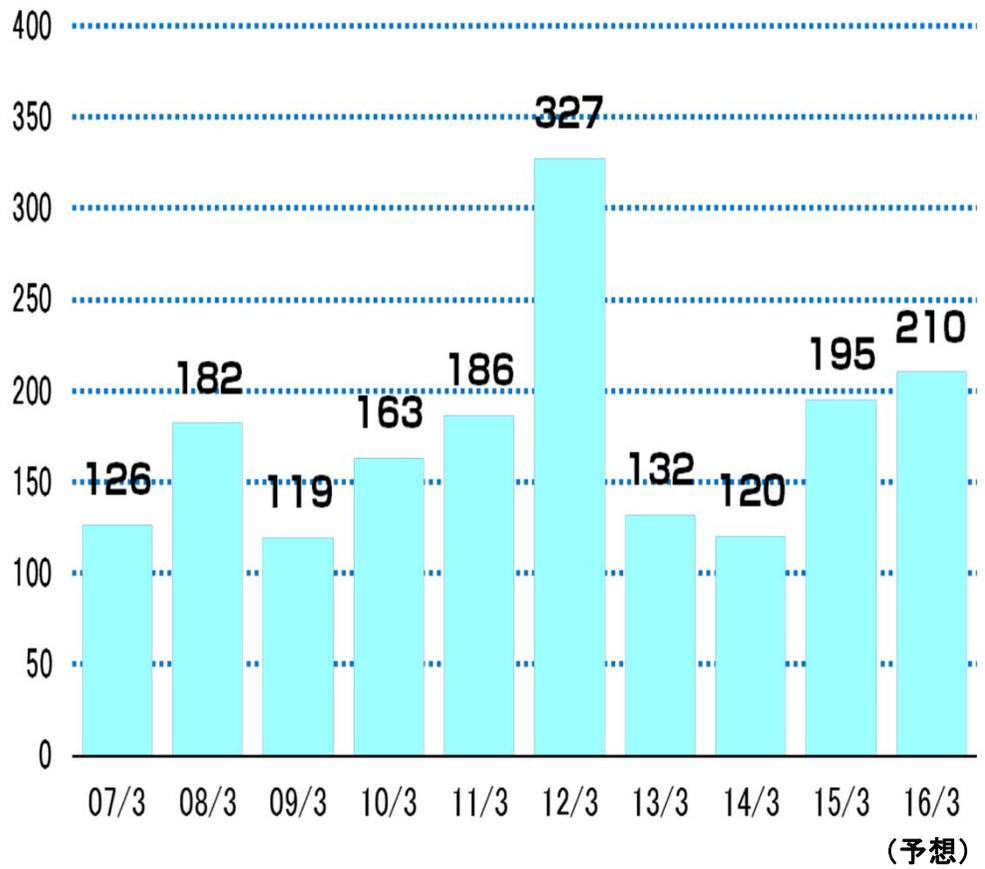
(単位:百万円)



業績推移

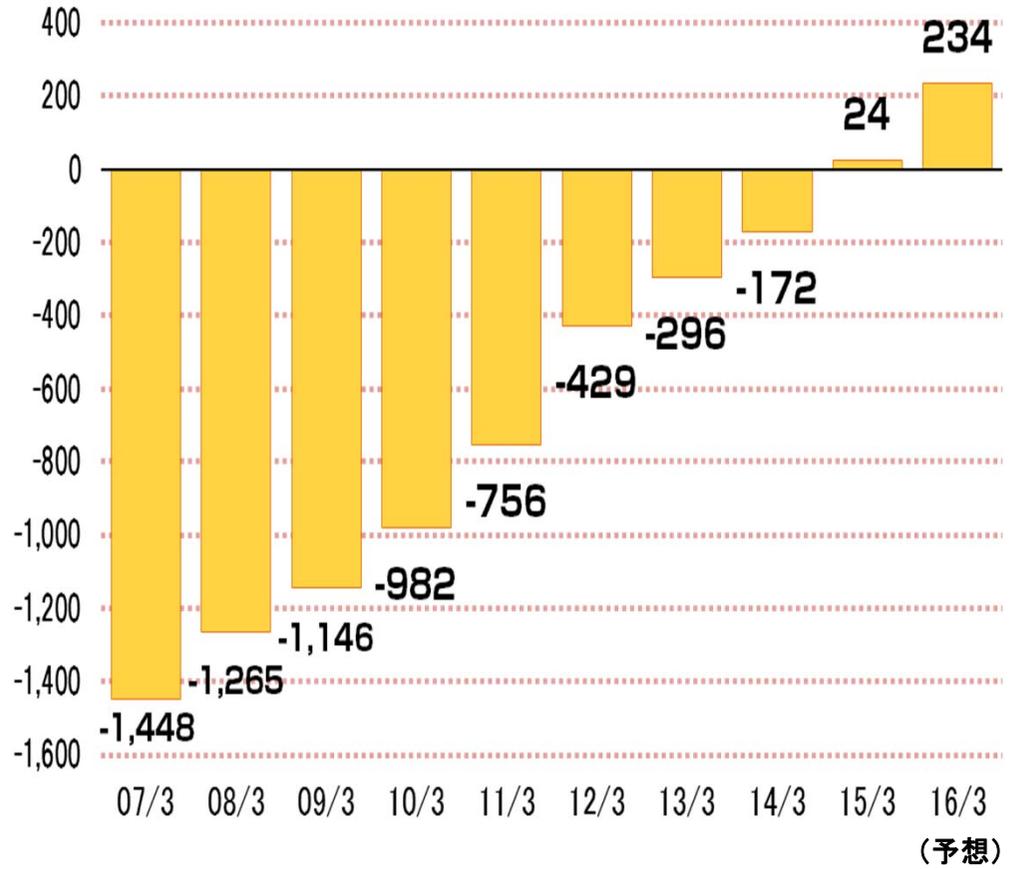
◆ 当期純利益

(単位:百万円)



◆ 利益剰余金(繰越損失)

(単位:百万円)



株価推移 (2007年3月~2015年12月)



株主還元

◆ 配当方針

収益率の更なる向上をはかるとともに、財務体質および経営基盤の強化を最大の課題に掲げ、早期復配と継続して配当できる体制を構築できるよう目指してまいります

◆ 株主優待

当社事業へ一層のご理解と製品をご愛顧をいただき、多くの株主様に株式を保有していただきますよう、株主優待制度を設けております

毎年3月31日(基準日)現在の株主名簿に記載された1単元(1,000株)以上を保有の株主様1記名に対して、販売価格2,000円相当の当社製品をお送りいたします



【2015年度の株主優待商品】
毎年7月に送付

注意事項

本資料の予想は、本資料公開日現在において、入手可能な情報、あるいは想定できる市場動向などを前提としており、不確実性が含まれています。

実際の業績は、今後の様々な要因により、予想と異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

投資に関する決定は利用者ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。